

果樹カメムシ類、多発の兆候あり!!防除の徹底を

一昨年、果樹産地で猛威を奮ったカメムシ類について、予察灯での累積誘殺数は多かった一昨年より少ないですが、前年より多く、チャバネアオカメムシが現地のフェロモントラップ調査で異常な数が誘殺されたり、ナシの摘果作業で既に**幼果への吸汁加害が見られ始めて**います。

また、近隣府県を含む24府県で注意報が発表されており、越冬条件も好適で春の気温は高く推移したことや、6～8月も高温が続く予報で、**発生量の増加**が懸念されます。



チャバネアオカメムシ



クサガカメムシ

このことから、定期的に園地を見回り、**園内に右上のカメムシ類の飛来を確認したら、速やかに防除を行ってください。**

1 ナシの主な防除薬剤（散布剤）

薬剤名	IRAC	毒劇	使用濃度	使用量 (/10a)	使用時期	使用回数	備考 (作物名)
スミチオン水和剤40	1B		800～1000倍	200～700㍈	収穫21日前まで 収穫14日前まで	6回以内	無袋栽培 有袋栽培
スミチオン乳剤	1B		1000倍	200～700㍈	収穫21日前まで 収穫14日前まで	6回以内	無袋栽培 有袋栽培
スカウトフロアブル	3A	劇	1500倍	200～700㍈	収穫前日まで	5回以内	
アーデント水和剤	3A		1000倍	200～700㍈	収穫7日前まで	3回以内	
アディオ乳剤	3A		2000倍	200～700㍈	収穫前日まで	2回以内	
モスピラン顆粒水溶剤	4A	劇	2000～4000倍	200～700㍈	収穫前日まで	3回以内	
ベストガード水溶剤	4A		1000～2000倍	200～700㍈	収穫14日前まで	3回以内	
パーマチオン水和剤	1B, 3A	劇	1000～2000倍	200～700㍈	収穫30日前まで	5回以内	

※カキ・ブドウなどは、農作物病害虫防除指針もしくは以下の最新の農薬登録情報をご確認ください。

令和8年度農作物病害虫防除指針(福井県)
IV 果樹編



2 注意事項

- 地域差や圃場間差もあるが、局地的に飛来し被害をもたらすこともあるので、注意深く観察する(特に山林に近い園地で多い傾向がある)。
- 夜行性のため、防除は夕方に行うのが最も効果的である。
- 有袋栽培でも、果実が肥大し袋に密着すると袋の上から吸汁されることがあるので、注意する。



◇◇◇ 最新の農薬登録情報(<https://pesticide.maff.go.jp>)を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

福井県病害虫防除室

連絡先：0776 (54) 9315

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

二次元コードをスキャンしてください→

